



「脱炭素社会に向けたフライアッシュの活用」の テーマで講演

中国電力(株) 電源事業本部 石炭灰有効活用グループ

5月11日(木)・12日(金)、広島市で開催された「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2023」(コンクリート構造物の健康寿命を延ばし、脱炭素社会の構築に寄与する) (主催：一般社団法人コンクリートメンテナンス協会)にて、電源事業本部 石炭灰有効活用グループの中本マネージャーが講演しました。コンクリート構造物はセメント製造時に二酸化炭素を多く排出するため、脱炭素への取り組みとして構造物の健康寿命を延ばす等の取り組みが行われています。講演ではコンクリート構造物の調査点検技術や補修・補強技術、最新の動向等について大学教授や専門家などによって幅広く紹介され、脱炭素へ向けた興味関心が高まるフォーラムとなりました。

石炭灰有効活用グループは、「脱炭素社会に向けたフライアッシュコンクリートの活用」と題して講演を行いました。フライアッシュコンクリートとは、コンクリートに含まれるセメントのうち、約20%を石炭灰(フライアッシュ)に置き換えた製品で、フライアッシュの効果による構造物の長寿命化に寄与するだけでなく、セメント量の低減による二酸化炭素排出量低減にも寄与することができます。約600人の参加者の皆さまも、熱心に聴講されました。

当グループでは、引き続きフライアッシュコンクリートの魅力を発信し、脱炭素社会の構築に貢献していきます。



脱炭素社会へ向けたテーマで講演を行いました

講演を行う
中本マネージャー



約600人が聴講されました